

【件名】

中野区教育の情報化推進計画見直しに向けた検討状況等について

【要旨】

中野区教育委員会では、令和3年4月から令和8年3月を推進期間とする「中野区教育の情報化推進計画」（以下「現計画」という。）を策定し、ICT機器を活用した教育の質の向上を目指し教育における情報化を推進してきた。

改定の検討にあっては、計画期間の終期に向けて検討を進めてきたところであるが、現計画の取組状況を踏まえた課題等の整理や、東京都教育委員会にて、都内の全公立小中学校の児童・生徒を対象とした統合型校務支援システムを令和10年度に共同調達するとした方針を受け、当該調達案件に参画するとした場合、当該内容との整合性を図る必要が生じたため、これらの内容等について改めて精査を行っている。

今回、計画改定に向けたこれまでの検討状況や共同調達に関する検討状況を併せて報告する。

記

1 現計画の主な取組状況を踏まえた課題等の整理について

中野区教育委員会では、令和5年より社会情勢や急速に高度化する教育ICT環境等を踏まえた計画改定を行うため、高度に知見を有する専門事業者へ計画改定作業業務を委託し計画改定作業に着手し整理してきた。

現計画の施策別課題等について、事業者が関係各課とのヒアリング結果を整理した。

2 統合型校務支援システム共同調達に係る検討状況等について

中野区教育委員会は、令和10、11年の共同利用に向けて、令和7年4月に部会に参画し、同調達事業を通じた調達に向けて検討を開始した。

検討中の主な内容は以下のとおりとしている。

- ・統合型校務支援システムの共通化及びクラウド化により、教職員の働き方改革（異動に際する負担軽減等）、データ利活用などを実現する。
- ・都教育委員会及び区市町村教育委員会でのデータ可視化・教育政策への利活用が可能となる環境整備を目指す。
- ・強固なアクセス制御による対策を実施する。（ゼロトラストセキュリティ）
- ・ネットワーク統合を実現し、高いセキュリティ確保する。 等

3 計画改定に係る経緯等について

（1）国の動向

- ・文部科学省は、令和4年12月に「学校教育情報化推進計画」を策定した。
- ・文部科学省は、令和6年度より全国一律のICT環境整備を推進するため「GIGAスクール構想」の第2期「NEXT GIGA」を推進している。

- ・文部科学省は、令和7年3月に「次世代校務DXガイドブック」を発表した。
- ・デジタル庁及び関係省は、令和7年6月に「教育DXロードマップ」を発表した。

(2) 都の動向

- ・令和6年3月に「東京都教育ビジョン（第5次）」及び「東京都学校教育情報化推進計画」を策定した。

(3) 区の動向

- ・令和5年5月に「中野区教育ビジョン（第4次）」を策定した。
- ・令和7年6月に「中野区立学校における働き方改革推進プラン（改定版）」を策定した。

4 今後の予定について

上記1～3の内容を踏まえて、以下の予定で次期計画策定に向けた検討を行う。

- | | |
|---------|-----------------------------------|
| 令和8年9月頃 | 統合型校務支援システムの共同調達への参画判断 |
| 令和8年9月 | 第3回定例会にて計画（案）について報告 |
| 令和9年3月 | 第1回定例会にて計画策定について報告 |
| 令和9年以降 | 共同利用に向けた教育委員会及び学校ICT環境の再構築の検討や整備等 |

5 その他

- (1) 現計画は、「学校教育の情報化の推進に関する法律」（令和元年法律第47号）に基づき、5年間を推進期間としていた。次期計画についても計画の策定から5年間を推進期間として検討をしている。
- (2) 次期計画策定までの間は、現計画を延長することとする。